

# 地域通貨「杉小判」を使いましょう！

本町では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛及び休業していた地元商店街の活性化、緊急経済対策として、全町民の皆さん（令和2年5月27日時点）に地域通貨「杉小判」を1人あたり5枚配布しました。

杉小判は、1枚が1000円相当の価値を持ち、町内の取扱加盟店約90店舗で、商品やサービスと交換ができます。取扱加盟店については、配布した「取扱加盟店一覧表」をご覧ください。町ホームページにて確認ください。

## 使用する際の注意事項

- ・おつりは出ません。
- ・一度に複数枚の使用ができません。
- ・杉小判と日本国通貨を併せて使用ができません。
- ・使用期限を過ぎた地域通貨「杉小判」は使用ができませんので、必ず使用期限内で使用

用いただくようお願いいたします。

## 使用期限

令和2年10月31日（土）まで

配布した杉小判（見本）



問合せ先 役場山村再生課 ☎75-3117

## りんどうが出荷の時期を迎えました！

智頭の特産品、青紫色の花を咲かせるりんどう。鳥取県では、現在本町のみで栽培されており、栽培が始まってから今年でちょうど50年を迎えます。



「県や大学など、関係者に助けられて、今も栽培が続けられている。本当に感謝しています」と智頭りんどう生産部の寺坂清美部長は語られました。

「りんどうは、仏花というイメージが強いかもしれないが、観賞用やフラワーアレンジメントにも適した花。色々な可能性を秘めたりんどうを手をかけて育て、商品としてお届けできることがりんどう栽培の最大の魅力だと思つ」

現在、生産農家は9戸となつている。最も若い人は30代ですが、生産者の後継者不

足は大きな課題となつていきます。

「りんどう作りは、思うよりも難しくなく、助言や栽培の手引きもある。最初は僅かな面積でもいいので、りんどう作りを始めていただきたい。気軽に連絡をお願いします」

今後「智頭りんどう」の名前を守っていくため、会員数や生産本数の増加を目指して取り組んでいくと寺坂さんは意気込んでおられました。

りんどうの多くは都市部へ出荷されますが、直売所やJA智頭支店でも販売されます。※JAでの購入は要連絡。10本単位で販売



## 取材協力

JA 鳥取いなば智頭支店 智頭りんどう生産部会

問合せ先 役場企画課 ☎75-4112